

講義科目名称： 宗教学

授業コード： 2210100600

英文科目名称： Religious Studies

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択必修
担当教員			
◎坂井祐円			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期 【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】 【氏名】 ◎坂井 祐円 【研究室】</p> <p>【本学の科目区分】 教養科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎</p>
------	---

到達目標	現代社会における死生観や生命観の意義についての考えを深める。宗教が発生する原点としての「死」や「いのち」の問題を考えることが、自身の人生を豊かにし、他者や他の生命を尊重して、助け合いや共生する関係（ケアの関係性）を生み出すことにつながることを理解する。
------	--

授業概要	人は、ある時この世に生まれ、いつかこの世を去っていく存在であるが、その間に様々な出会いや出来事を経験する。そうした経験から、生きる意味やいのちの大切さについて考えることがある。具体的な事例をもとに、死生観や生命観が、ケアの関係性につながることを見ていく。
------	---

授業計画	<p>1-2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：現代社会と死生観・生命観 学習内容：サブカルチャー（アニメ、ドラマ、音楽、ネットコミュニティ）に見る現代人の死生観／日本人に特有の文化的寛容性 備考：</p> <p>3-4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：死生観・生命観の宇宙 学習内容：自分の死、大切な人の死について実感するワーク／生命の歴史を通して生と死の意味を考える／人工知能（AI）と人間の心／靈魂の有無と意識の謎 備考：</p> <p>5-12 授業内容 授業形態：対面 学習課題：死生観・生命観をめぐる心の現象とケアとの関わり 学習内容：スピリチュアルケア：死の不安と生きる意味について／安楽死・尊厳死・自死：死の自己決定権、いのちの選別、優生思想／死んだらどうなるか：臨死体験、生まれ変わり／グリーフケア：死別体験、心に残る葬儀、災害犠牲者への追悼と供養／いのち教育：子どもの死生観、自己肯定感、生き物を殺して食べる、幸せとは何か／臨生体験：今ここを生きる 備考：</p> <p>13-15 授業内容 授業形態：対面 学習課題：死生観に基づくケアの実践 学習内容：具体的なケアの現場から考える：キューブラー・ロスの生涯／仏教カウンセリング／被災地での心のケア／マインドフルネスの実践／死者が現れる夢 備考：</p>
------	--

事前・事後学習	事前学習：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学習：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること（各1時間）
---------	--

評価方法、評価基準	ディスカッション80%：各講義に必ずディスカッションの時間を設ける。 試験20%：目標達成度を評価する筆記試験を行う。
-----------	--

必携図書	坂井祐円編（2022年）：『仏教は心の悩みにどう答えるのか』晃洋書房 坂井祐円（2018年）：『お坊さんでスクールカウンセラー』法蔵館
------	--

参考図書・資料等	他は講義の中で随時紹介・提示
----------	----------------

受講、課題、資料配布等のルール	毎回、講義資料を配付する。欠席回の資料については申し出て受領すること。講義に参加し、ディスカッションすることを重視する。
-----------------	--

教員からのメッセージ	科目名は宗教学ですが、内容的には死生学の授業です。看護の現場では、「死」や「いのち」についてふれたり、考えたりする機会が多いことと思います。この授業を通して、そのような問題とどう向き合ったらよいかを考えるきっかけになればと願っています。
オフィスアワー	—